

カメルーン通信



No.8 2018年度1次隊 小学校教育 飛田梨圭

コモンチュバ
Bonjour! Comment tu va?(訳:こんにちは、お元気ですか?)

今回はカメルーンの祝日の過ごし方の様子と私の活動をお伝えしたいと思います。

1. 祝日の過ごし方

私が暮らしている国では最近日本でいうところの子どもの日のお祭りがありました。その名も Fête de la jeunesse(訳:青年の日)。2月11日が青年の日と呼ばれる祝日なのですが、この日は街中の子ども達がお祭り会場に集まり各学校ごとに行進をします(写真右上)。下は幼稚園から上は大学まで。行進の前にはイベントがありダンスの披露や詩の朗読といった出し物もあります。中にはミスコンもあり美男子美少女の表彰もありました。市内には学校がたくさんあるので行進の見物だけで2時間近くありました。学校によってダンスをしながら、吹奏楽の演奏をしながらの行進などと工夫があり見応えがありました。右の写真はこの日の為に作った衣装を着て活動先の小学校の先生と記念撮影をしたものです。カメルーンでカバと呼ばれる服に同じ布で作ってもらった帽子を身に付けています。仕立て屋さんが街にはたくさんあるので布代と仕立て代合わせて10000fCFA(約2000円)でできました。日本では考えられないくらい服を作るのが安いのでこれ以外にも何着か作ってもらっています。



2. 活動の紹介

この国での私の活動は小学校で情操教育を現地の先生と協同で実施することです。主に図工を中心に子ども達に教えています。右の写真は高学年のクラスで教室掲示づくりをしているときのものです。手形を葉っぱに見立てて果実には子どもの夢と名前を書いてもらい、クラス全体で'夢見る木'を作成しました。カメルーンの学校では学校は勉強をするところという意識が強く教室に何かを飾ろうとするとよく大人も子どもも「まるで幼稚園のようなことをするね。」という反応が返ってきます。日本では当たり前の光景がここでは珍しかったようです。クラス全体で何か1つの物を作るということも珍しく最初に作る時に子どもの手に絵具を塗って木の葉っぱを描いていくことを説明すると先生から「何人子どもが必要?」と答えが返ってきたときも驚きました。子どもを平等に見るという感覚も薄いようでした。全員やると伝えた時は時間がかかると難色を示されましたが、何度かに分けて作成をし、完成したものを教室に貼るととても喜んでくれました。



[ここに入力]

現地の生活に慣れてだんだんと周りに意識が向けられるようになると街に散在しているごみが気になるようになりました。特にお祭りの際には大量のごみが量産されています。何よりひどいと感じたのが手にしたごみを躊躇なく捨てるという行為です。大人も子どもも関係ありません。意識の改革の必要性を感じるようになり、活動先の小学校で図工に環境教育の要素を組み込んだ授業を実施するようになりました。



写真①がごみを集めてひとまとめにし、セロハンテープを何重にも巻いてボールを作ったものです。学校に所持しているサッカーボールは1つか2つしかないのごみで作ったボールは子ども達に大人気でした。休憩時間になると投げたり蹴ったりと楽しそうに遊んでいました。

写真②はペットボトルを組み合わせで作ったサルの置物です。街にはビニールごみの次にペットボトルが落ちていることが多いので、落ちているペットボトルを探してきてもらい作成しました。

写真③はビール瓶のふたで作ったモザイク画です。この国の人たちはとにかくお酒が大好きなので飲み屋の前には大量のビール瓶のふたが転がっています。これも子ども達に収集してもらい、カメルーンと日本の国旗をモチーフにしたものを作成しました。プラカード仕様にしたのでお祭りの行進の時に掲げてもらいました。

写真④は任地にある教育省の事務所が要らなくなった色付きのコピー用紙を大量に所持していることがわかったので、譲り受けて色画用紙を使った貼り絵を作成しました。アルファベットを書いた紙に色紙を貼りつけてスローガンを作りました。

さらに環境教育への理解の促進の為に今回、青年の日の祝日（2月11日）に530運動を実施しました。実施する上で豊橋市にある環境協議会事務局の方に協力を仰ぎごみ袋とのぼりを提供していただきました。当日は地元の環境団体や活動先の小学校の先生たちとも協力をして祝日のセレモニー終了後に1時間程行いました。

【セレモニー終了後の道路の状態】

道路は紙ごみ、お菓子の入っていたビニール袋やペットボトルがたくさん落ちていました。



[ここに入力]

【活動開始】



4人で1グループを作ってごみ袋を配布しました。道路に落ちているごみをどんどん拾っていきます。



【GOMIZERO(530)活動終了!】

1時間強時間をかけて GOMIZERO(530)活動を実施したところ、たくさん集まりました!



日本語に不慣れなためのぼりの持ち方がカメルーン風になっています。伝えたのですが、うまく伝わってなかったようで横向きに…。

道路脇の溝になっているところにごみを捨てる人が多いことに気が付いたようで真剣に拾っています。

途中から子ども達は遊びのようにごみを集めていました。いかに早く自分たちのごみ袋をいっぱいにするかで競っている様子がほほえましかったです。



最後にみんなで集合写真。私の後ろに集めたごみ袋があったのですが、写真を撮る際に子ども達が押しついたりごみの上に座ってつぶしていたりと見えづらくなっています。国民性なのかいかに自分が前で映るかが最重要事項なので仕方がないとあきらめています(笑)でもそこが無邪気でかわいらしいカメルーンの子供達です。この活動をきっかけに子ども達への環境問題への意識向上につながればと思います。